

工夫（書き出しの工夫・表現の工夫）参考カード

1, 書き出しの工夫

物語は書き出しが大切！ みりよく的な書き出しで読者を引きつけよう！

たとえば・・・

- 会話から・・・ 「おーい、たろうくん。」道のむこうから、じろうが・・・
- 音から・・・ ガシヤーン。すごい音にふりむくと、そこには・・・
- 動作（どうさ）から・・・ たろうは走った。思いきり走った。
- 様子から・・・ 空はとても青く、すきとおっていた。たろうは・・・
- 気持ちから・・・ くやしいなあ。たろうは心からそう感じた。
- 思ったことから・・・ 「明日こそがんばろう。」たろうはそう思った。

☆ 自分の物語。書き出しはこう工夫して書いてみよう！

2, 表現の工夫 ①気持ちを表す工夫

主人公や登場人物の気持ちや思っていることを、いろいろな表現で表してみよう。
気持ちを『動き』や『たとえ』、『様子』などで表現してみよう！

たとえば・・・

- くやしい・・・ 口びるをかんだ。 「ちえっ」。たろうは舌うちをした。
- うれしい・・・ とびあがった
- たのしみ・・・ 指おりかぞえてまっていた。
- きんちょう・・・ 手にあせがにじんできた。
- どきどき・・・ 心ぞうが口から とび出てきそうだった。
- はずかしい・・・ ほっぺたが まっ赤になった。

2, 表現の工夫 ②情景を表す工夫

場面の情景や様子、音、色、におい、などが伝わるように、いろいろな表現で表してみよう！
たとえば・・・

●朝やけ・・・東の空がまっ赤に燃えて、朝が来ました。（大造じいさんとガン）
●大雨・・・バケツの水をひっくり返したような雨が急にふってきた。
●台風・・・森はおこったようにゆれ、小川はだく流となってあばれた。
●おいしい・・・このままずっと口の中に入れておきたい気持ちだった。
●暑い・・・夏がいきなり始まったような（白いぼうし）
●夏みかん・・・まるであたたかい日の光をそのままそめつけたような（白いぼうし）
●小さな声・・・それはシャボン玉のはじけるような

※（まるで）　　ゝのようにくだった。（ゝした。）